

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるように保管してください。

第2類医薬品

解熱鎮痛薬

痛みと熱に

ケロリン

頭痛・歯痛・発熱時の解熱に

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと ☒

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないでください

(1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。(2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、
かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。(3)15才未満の小児。(4)出産予定日12週以内の妊婦。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬

3. 服用前後は飲酒しないでください 4. 長期連用しないでください

相談すること 🗣

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

(1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。(3)授乳中の人。
(4)高齢者。(5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。(6)次の診断を受けた人。心臓病、
腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持
って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胸やけ、胃もたれ、腹痛、下痢、血便、胃腸出血
精神神経系	めまい
その他	鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、発熱、のどの痛み、背中への痛み、過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどの かゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発 疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。

症状の名称	症 状
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

■効能・効果

頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛。悪寒・発熱時の解熱。

■用法・用量

次の1回量を1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	1回量	1日服用回数
15才以上（大人）	1 包	2 回
15才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

本剤は、定められた用法・用量を厳守してください。

■成分・分量 [1包量 800mg]

成 分（1包中）		主 な 作 用
アセチルサリチル酸	600mg	すみやかに痛みと熱を抑える
無水カフェイン	60mg	解熱鎮痛作用を助ける
ケイヒ末	60mg	胃をいたわる生薬成分

添加物としてバレイショデンプンを含有します。

■保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4)配置期限をすぎた製品は使用しないでください。



製造販売元
内外薬品株式会社
富山県富山市三番町3-10

「お客様相談窓口」（電話076-421-5531）
受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）